

平成30年度 日之影町立八戸小学校 学校評価

評価項目	達成目標	第一次評価	第二次評価	職員・児童評価、保護者評価の分析 (今後の改善策)	第三者評価
		職員・児童 日常の評価	保護者 評価		有識者 評価
学習指導の推進	① 個に応じた指導法の工夫改善や指導力向上による基礎・基本の定着(チェックシートで8割達成)	3.0 (職員評価)	/	「4つのチェックポイント」の4段階評価の平均が3.0で、百分率にすると75%となり、目標達成にはいたらなかった。「ひのかげ学びのスタイル」を参考により具体的に実践していく必要がある。	3
	② 基本的な学習習慣の維持・向上	3.2 (児童評価)	3.1	話し方や聞き方については概ね良好な評価であった。背筋を伸ばす、大きな声で返事という評価が低い児童が目立った。授業中の姿勢について、意識を高くもたせる工夫が必要である。	3
	③ 家庭学習の充実と習慣化、保護者との連携強化(100%の実施と提出)	3.0 (児童評価)	3.3	放課後の時間を使って宿題等の指導を継続して行っており、学力の伸びも見られる。更に達成感や充実感を味わわ、習慣化を図りたい。	3
	④ 読書活動を通じた読解力の育成(読書量10%アップ)	4.0 (貸出状況)	/	図書室の貸出量から昨年度と比較すると23%のアップが見られた。地域の方による朝の読み聞かせや図書室の環境整備等が影響していると思われる。	4
生活指導の推進	① 生徒指導の三機能(自己存在感・共感的な人間関係・自己決定)を生かした指導	3.2 (職員評価)	/	全ての教職員が「4」「3」の評価をあげており、日頃から生徒指導の三機能を意識して指導している。更に高い評価を目指して指導に当たっていききたい。	3
	② 基本的な生活習慣の定着(評価シートで9割達成)	/	2.7	基本的な生活習慣については、「すくすくファイル」を利用してチェックした。達成率は84.8%で、更なる工夫が必要である。特に「排便」について習慣化を図る必要がある。	3
	③ 道徳の時間の授業の在り方の工夫	2.7 (職員評価)	/	「特別の教科道徳」について講師を招いて研修を深めてきた。今後、実践を通して授業の在り方を更に工夫していききたい。	3
	④ 家庭と連携した読書活動の推進(家読の完全実施)	4.0 (家読調査)	/	家読週間を学期1回設け、家庭でできる様々な読書活動に取り組んでいただいた。家読をやってよかったという感想が多く得られた。	4
体力の向上・安全	① 運動の日常化と体育の授業改善	3.0 (職員評価)	3.2	体幹を鍛える教具を使ったり、体を動かし続ける工夫をしたり等、授業改善に取り組んだ。家でも外で遊ぶ児童多いことが保護者のアンケートにより知ることができた。	3
	② 新体力テストを活用した体力の向上(個人目標の達成)	3.0 (職員評価)	/	新体力テストの個人目標を定めることはできた。更に一人一人の児童が自分の目標を意識して取り組ませるような工夫が必要である。	3
	③ 食育の充実	4.0 (日常実践)	/	食育の授業の全学年実施や「弁当の日」の実践、講師を招いての「味覚の授業」など、充実した指導ができた。	4
	④ 「早寝早起き朝ごはん」の推進(95%達成)	/	3.5	「すくすくファイル」では達成率77.6%で、更なる工夫が必要である。特に就寝時刻が遅い傾向にあり、メディアに関しても同時に指導していく必要がある。	3

